



全日本ろうあ連盟創立70周年記念ドキュメンタリー映画

坂を登って 手話カフェ

ろうあ者の言葉、それは「手話」
「手話」無くして私たちは
闘うことはできなかった
私たちにあって、
まさに「手話はいのち」



連盟創立



運転免許獲得運動



アイラブランニング



上映時間
45分

全編日本語
字幕付き

- 監督・脚本 倉野直紀
- 撮影 菊地正美
- 題字 高田英一
- 製作 一般財団法人 全日本ろうあ連盟
- 制作 認定NPO法人 CS障害者放送統一機構

同じ3階の技能習得室にて、
手話カフェ&販売など楽しい企画付き！
11:00~13:30
15:00~15:30
手話で絵本読み聞かせ(約10分)
①11:15~ ②15:15~
ぜひ、気軽にお越しください！



手話タクシー制定運動



一般財団法人 全日本ろうあ連盟
Japanese Federation of the Deaf

2017年4月2日(日)

午前の部・・・受付09:30~ 上映10:00~10:50

午後の部・・・受付13:30~ 上映14:00~14:50

会場・・・明石市立総合福祉センター
3階 大会議室

鑑賞料・・・500円《当日受付可》

チケット申込先：明石ろうあ協会/木戸
FAX (078) 922-0152
Email: deaf.akashi2009@gmail.com

一人はみんなのために
みんなは一人のために

段また段を 成いて



全日本ろうあ連盟創立70周年記念 ドキュメンタリー映画

■ あらすじ

400年もの時をゆったりと流れる伊香保の湯。そして幾多の人々が登った伊香保の石段。一段一段登っていくと石段に刻み込まれた一節にふと目が留まった。与謝野晶子の詩「榛名山の一角に 段また段を成して・」。

先人たちは70年の長きに亘り石段を一段一段登っていくかのように、苦しみを乗り越え、差別や偏見とたたかってきた。連盟の歩みは正に段また段を成し、その積み重ねがあって、今の私たちがいる。

全日本ろうあ連盟結成の地、伊香保温泉での久保田明（連盟結成時に立ちあい、それから今に至るまで長年ろうあ運動に携わってきた）と柗カナ（ろうあ協会に入って間もない若いろうあ者）のやり取りを軸として、ナビゲーターと当時の貴重な資料や映像を交えて、段また段を成すかのように、ろうあ運動の歴史の積み重ねを描き出す。

群馬県伊香保温泉の「ホテル木暮」に建つ「全日本聾唖連盟結成大会記念碑」を訪れた久保田明は、碑に刻まれている「手話はいのち」に思いを馳せ、ここから始まった連盟70年の歴史を柗カナに語りはじめた。

〈聾唖の世界を一つに〉

1915（大正4）年の日本聾唖協会結成と戦時中の解散。そして、戦後まもない昭和22年5月、全国からろうあ者が「我らの組織を」「聾唖の世界を一つに」と伊香保温泉「木暮旅館」に集う。この時の状況を当時の生々しい状況を伝える「記録簿」と「回想（著者大家善一郎氏（2代連盟長））よりたどる。

〈手話はいのち〉

久保田は柗に、ろうあ者の大切な言葉「手話」が認められていなかったと語る。当時、手話は動物みたいとあざ笑われ、社会はろうあ者への差別や偏見に満ち溢れており、ろうあ者の人権は認められてはいなかったのだ・・・。

〈聞こえないことは悪いことなのか—ろうあ者にも運転免許を—〉

昔、久保田と一緒に運動した仲間、赤城肇（飯島豊）は、柗に岩手県で起きた無免許運転裁判から道路交通法88条改正へのたたかいを語る。そして外にはまだこれからも運転免許獲得運動が続いていくことを象徴するエピソードが。

〈聞こえる仲間とともに—アイラブパンフ運動・差別法令撤廃運動—〉

京都での手話サークル誕生から全国での手話講習会開催。それは、ろうあ者の仲間が手話を学ぶ聞こえる仲間が増えていったことを意味している。聞こえる仲間と共に手話通訳の認定・設置・派遣の制度化を求めて、国民の1%である120万人の署名運動（アイラブパンフ運動）、そして手話通訳士の誕生と手話通訳派遣事業・設置事業の開始。そして更に多くの仲間を得て、ついに民法11条から医師法・薬剤師法など、聞こえないことを理由にろうあ者の社会参加を阻む差別法令撤廃運動につながってゆく。

〈一人はみんなのために、みんなは一人のために〉

かつて、動物みたいだとあざ笑われてきた「手話」は、障害者権利条約、障害者基本法の改正で、言語であると認められた。そして、全国の仲間たちが手話言語法制定運動を展開し、2016（平成28）年3月に全ての市町村で「手話言語法意見書」採択、2013（平成25）年には全国に先駆けて鳥取県での「手話言語条例」採択へとつながった。70年に亘ってろうあ者の人権獲得を掲げ、ろうあ運動を続けてきた全国の仲間たち。これからはろうあ運動は引き継がれていく・・・。

【解説】 これは、70年の長きに渡り、先人たちが苦しみを乗り越え、差別や偏見と闘ってきた、私たちのそして全日本ろうあ連盟の歴史の積み重ねをドキュメンタリーにした。

かつて、手話は嘲られ、社会から差別や偏見の中、ろうあ者たちは生きてきた。しかし、全国の仲間や聞こえる仲間が一つとなり、運転免許獲得運動、手話通訳制度化運動、差別法令撤廃運動を成し、ろうあ者の社会的環境は着実に向上してきた。そして今や、かつてないほど全国が一つとなり、手話言語法制定運動が沸き起こっている。

「手話はいのち」の言葉に託し、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」運動していくことが、このドキュメンタリーの根底に流れている。

この映画の題名「段また段を成して」は、私たちが石段を一段一段、踏みしめて登っていくように、70年前から積み重ねてきたろうあ運動の歴史を象徴するものである。連盟結成の地、群馬県伊香保温泉から、物語は幕を開ける—

映画に関するお問い合わせ

一般財団法人全日本ろうあ連盟

〒162-0801 東京都新宿区山吹町130 SKビル8F
TEL.03-3268-8847 FAX.03-3267-3445
<http://www.jfd.or.jp/>

苦難の歴史を振り返り、未来へつなげる
—語り継いでいく70年、ひろげていく連帯—

全日本ろうあ連盟70年史

～社会への完全参加と平等をめざして～



※表紙はイメージです。

明石市立総合福祉センター

〒673-0037 明石市貴崎1丁目5-13
電話 / 078-918-5660、ファックス / 078-918-5661

山陽電車「林崎松江海岸」駅より、徒歩約5分
明石駅より神姫バス「貴崎1丁目」下車、徒歩約1分

